

## 「実践的な河川環境の評価」

# 大和川現地視察会を開催しました！

多自然川づくりを一層推進していくために作成された「実践的な河川環境の評価・改善の手引き（案）」の内容をさらに充実させるため、手引きに基づき平成29年度に評価を行った大和川の注目すべき環境要素や評価結果の妥当性等について、大和川の河川環境に精通した学識経験者を交えて現地視察および意見交換を行いました。

### 開催概要

- 日時：令和元年11月18日（月）13：00～17：15
- 視察場所：大和川5.0k～6.0k左岸、16.5k～17.5k右岸
- 参加者：学識経験者3名、本省1名、国総研1名、土木研究所1名、河川部4名、管内事務所13名、（公財）リバーフロント研究所4名、業務受注者2名 合計29名



▲5.8k左岸（大阪府堺市堺区浅香山町地先）  
※今回の代表区間1として設定。生息場の多様性の評価点が最高評価箇所。裸地や水性植物体の環境が良い箇所である。



▲17.3右岸（大阪府柏原市古町地先）  
※今回の代表区間2として設定。  
大和川河川事務所前でもあり、アクセス性が良く、瀬・淵、ワンド・たまりの環境が良い箇所である。

### 参加者の主な意見

- ・汚かった大和川が今ではこれだけ綺麗になったことを誇りに思う。
- ・評価にあたり重要視すべきは「大和川らしさ」である。全国一律の評価ではなく、大和川固有の評価軸の設定が望まれる。
- ・河川環境の評価に際しては、目標を一つに絞るのではなく、流域住民が川から享受できる多くの生態系サービスをバランスよくとっていけるのかが肝要である。
- ・自然環境の連続性の視点を取り込むことができればなおよいと感じた。



▲意見交換会



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課

〒583-0001 大阪府藤井寺市川北3-8-33 TEL 072-971-1381